

第2回酪農後継者育成塾が開催されました

生産本部 営農指導課



去る11月5日(金)、新型コロナウイルス感染拡大により開催が延期されていた「令和3年度第2回酪農後継者育成塾」が開催され、塾生及び関係者を含め36名が受講しました。今回は「優良農家視察」というテーマで、(株)洞田貫牧場(大阿蘇酪農業協同組合)を視察しました。

(株)洞田貫牧場は経産牛260頭を飼養しており、1頭あたり11,000kgを超える高泌乳牛群を管理しています。また、空胎日数も平均120日と短く、繁殖成績も非常に優秀な牧場です。



洞田貫 雄大氏

初めに、社長の洞田貫優造氏からご挨拶を頂き、視察が始まると本塾出身者でもあり牧場後継者の洞田貫雄大氏から、子牛、育成

牛、乾乳牛、搾乳牛の管理方法について、実践していることや気をつけていることなどについて話して頂きました。

洞田貫氏が大事にされていることは、牛の観察です。牛の毛艶やどれくらい食べているか、搾乳牛では、乳量の変化、脚、パーラーに入ってくる順番等を注意して観察されています。そして異常が感じられれば迅速に対応することが重要と話がありました。

移行期の管理については低カルやケトーシスなどの産後疾病予防のために特にコストを掛け製剤

等を給与しています。また、分娩後は30日を超えたあたりから、早めに繁殖検診でフレッシュチェックを行い、異常があればすぐに処置を行っています。このような取り組みが順調な立ち上がりや早期の種付けに繋がり、結果的に繁殖の好成績を生んでいます。



洞田貫牧場は搾乳ロボットを導入しており、省力化、効率化も計っています。洞田貫氏からは、ロボット導入のメリット、デメリットについても話がありました。受講者の中には、将来的に搾乳ロボットの導入を検討している方もおり、導入を考えるヒントになったと思います。



今回の視察研修では、どのステージにおいても、牛のいつもと違う変化を見逃さず、異常があればすぐに対応することが重要であり、その変化に気付くためには毎日の牛の観察が大事だということが感じられる研修になりました。受講者達も熱心に洞田貫氏の話に聞き入り、活発な意見交換が出来ました。

(営農指導課 096-388-3510 担当：作村)

凍結精液の扱い方

生産本部指導部技術課 伊藤 昂志

液体窒素を用いた精液の保存方法は、現在広く普及しています。半世紀前に凍結された精液ストローを融解、注入して仔牛が生産できた事例もあり、適切な扱いをした場合、精液を長期間保存することができます。しかし、一度不適切な扱いをすると、精子がダメージを受けることで活力が低下し、受胎率の低下に繋がります。適切な扱いを心掛け、精子へのダメージを防止することで、活力の高い精子を使用できます。

・ボンベから出し過ぎない

ストローをボンベから出して空気中に曝すと急激に温度が上昇し、精子がダメージを受けます。ストローの文字がよく見えず窒素ボンベから出したくなりますが、ボンベから何度も出してしまうと精子へのダメージが蓄積していきます。ストローを確認する際はボンベの口より高くしない、高くするには速やかに液体窒素の中に戻す、こまめに液体窒素を補充するなどを心掛けましょう。



・風や日光に当てない

ストローを空気中に出した時に風がある場合、無風状態と比べてより急激に温度が上昇するためダメージを受けやすくなります。また、精子は紫外線に弱く、日光が当たることでもダメージを受けます。そのため、精液ストローを出し入れする、融解する際には、扉や窓を閉める、日が当た

らない所で作業を行うなどを心掛けましょう。

・購入元の融解方法に従う

精液ストローに入っている凍結液は販売元や商品で異なり、融解時のお湯の温度や浸漬する時間、共に最適な条件が異なります。融解する前に指定されているお湯の温度、浸漬時間を確認しましょう。

・温度計、タイマーを使用

凍結精液を融解する際、温度計とタイマーは必須です。勘に頼った融解法は、精子の生存性を損ねます。温度計とタイマーで正確に測りましょう。



・注入器を温める

融解後、精子は温度差でダメージを受けます。気温が20度を下回っている時などは注入器を懐に入れる、保温器を使用するなど、ストロー融解前に温めて置くことで対策ができます。注入器にセットした後も注入するまで同じように保温しておきましょう。

・融解後速やかに

凍結された精子は融解後、時間の経過とともに活力が落ちていくので、融解後は速やかに注入しましょう。

COLUMN—コラム—

「ゆりかごから墓場まで」畜産事業について

コロナ感染者数も減少傾向のなか、緊急事態宣言も解除され経済活動も再開し始めました。前年から自粛続きの生産本部内の業務推進が活発化するなか、今回は畜産部事業（素畜課・食肉課）業務についてご紹介したいと思います。

まず、素畜業務ですが生乳生産の維持・基盤強化を目的に搾乳素牛幹旋等により、生産者への利益を生みだすことを基本としています。西日本の搾乳素牛の後継牛供給基地に定着し、県内を中心とした九州内外からの出品と多くの購買者により、毎月、J A熊本市家畜市場でマザーズ市場を開催しています。令和2年度は1,696頭の成立頭数となりました。また、北海道から初妊牛導入も前年度557頭が県内酪農家へ導入されました。併せて、県補助事業の家畜導入事業（高品質乳用牛導入事業）を活用されると72千円／頭の助成があり、事業内容としては登録したホルスタイン種でホルスタイン種性判別精液又はホルスタイン種性判別受精卵利用により雌子牛の受胎が確認された初妊牛を3年間貸し付けた後、譲渡する事業となっています。

夏季以降、北海道初妊牛相場が下げ基調となり、様々な要因がありますが、全酪連販売預託事業の預託下牧頭数は前年度465頭で、相場変動等による経営上のリスクを回避できること飼養管理における労働力・施設負担軽減を図れることがメリットとしてあります。一例として、6カ月齢の雌子牛を北海道へ上牧預託し15カ月齢以内で受胎し分娩2～3カ月前に下牧すると預託代、保険、運賃等で約40万円（税抜き）の費用額となりますが上牧月齢が増すと費用が安くなります。

また、庭先からの初生牛幹旋や肥育素牛も扱っており、約1,000頭余りを県内外の育成・肥育農家へ供給していることからまだまだ受け入れ先は必要としています。販売ご希望の生産者は素畜課迄ご一報いただきたいと思ひます。

次に食肉業務ですが酪農所得の向上と肉牛の肥育管理技術の確立を図るため、乳肉複合経営による良質牛肉の生産と酪農経営の安定的発展を期

することを目的にしています。昭和51年から食肉事業を開始して「肉畜課」の名称で発足し、45年が経過しました。当時は家畜市場や庭先において家畜商への販売が主流でしたが、生産者が困っている緊急廃用牛（事故牛）の取り組みから開始したと聞いています。職員自ら家畜車に乗り、積み込み後屠畜場へ運搬されてました。開始年度は179頭の取り扱いでしたが生産者のご理解のもと利用頭数も増加し、3年後の昭和53年には2,000頭を超えました。

副産物として販売されていた子牛は乳肉複合経営の普及もあり、一部を残して一貫肥育される農家も徐々に増え、平成12年度に11,056頭（経産牛5,994頭、若齢牛5,062頭）と過去最高の取り扱いとなりました。その後、畜産情勢の変動や搾乳規模の拡大により若齢牛は減少傾向になりました。

時にクィーンビーフとは「何ぞや」と聞かれますが、熊本県内において乳用種雌牛から生産される乳用種・交雑種・和牛等の牛や牛肉の総称を「クィーンビーフ」と言います。屠畜された牛は経産牛を中心に約8割を加工処理し、「枝肉」から加工後「正肉」へ、それから一般生活者に届く時点を「精肉」という工程を経ています。経産牛の出荷月齢は前年度平均で72カ月齢で、再肥育された枝肉は部分肉として取引先に販売し、それ以外は加工用として切り落とし材やヒキ材として流通しています。

生産者、会員組合の方々には年間を通じて精肉キャンペーンをご利用いただいておりますが、肉の栄養価値としてタンパク質をはじめとするビタミン、ミネラルといった生きるために必要な栄養がすべて揃って「命をいただく」ことに感謝したいと思います。

まさしく、畜産部事業は「ゆりかごから墓場まで」の業務を行っています。今後とも搾乳素牛等の幹旋や牛の出荷の連絡は担当部署までお願いいたします。



らくのうマザーズ生産本部
畜産部長 田上 浩一郎

冬季限定
ナーシャテルチーズ
登場♡



1個 1,140円

ハート型の白カビタイプのチーズは
生乳に生クリームを加えて作るので
濃厚な味わいと滑らかな舌触りが特徴
若いうちはフルーツやパンと一緒に！
熟してきたら辛口の白ワインとの相性もgood
もちろん、贈り物にもオススメ☆

マザーズキッチン



料金	
大人	1,600円
学生	1,300円
小学生	900円
幼児 3歳以上	400円
※学生割引 シニア割引あり要証明	

冬季限定☆
シェフ特製お鍋登場★
お楽しみに♪



Go To Eatキャンペーン熊本のお食事券の
取り扱い場所が変わります。



ご利用いただける場所

バイキングレストラン『マザーズキッチン』
でのご利用となります。
※上記施設以外ではご利用できません。
※尚、別途入場料(3歳以上お一人400円)が
必要となります。

阿蘇郡西原村河原3944-1 Tel.096-292-2100 入場料:お一人400円(3歳以上) 営業時間/10:00~17:00 休業日/11月末まで無休

手づくり体験館

お願い

感染対策として、各教室とも参加数を減らし開催しています。また
ご参加の際マスクの着用と、体験に参加される方のみのご入室となります。
乳幼児などマスクの着用が困難な方のご入室はご遠慮いただいております。
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

*バターづくり体験
※持ち帰りプラン

1名様からの受付
所要時間約40分

①12:30開催 お一人様
②15:30開催 600円



*チーズづくり体験
※お持ち帰り

2名様からの受付
所要時間約50分

①11:00開催 お一人様
②14:00開催 1,200円



12月季節メニュー

とろ〜り溶けたチョコが
たまらない冬おすすめスイーツ

開催時間:

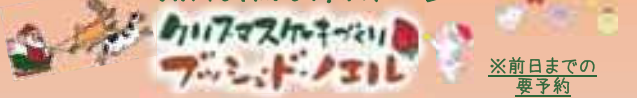
①10:30 ②12:45 ③15:15

所要時間:(作)約30分+(焼)約30分

体験料金:お一人様900円



Christmas特別メニュー



※前日までの
要予約

開催期間:12月11・12・18~25日
期間中の土日は、1日2回開催★



開催時間/①10:30 ②13:30

所要時間/約2時間30分

体験料金/1本3,000円 2本5,000円



3つ子のヤギが
10月に産まれました

とっても仲良し兄妹♪

乳業だより

カフェオレ冬限定パッケージにて、 Instagramを使用したキャンペーンを開催中！



本会公式アカウント
QRコード



アカウントのフォロー及び皆様のご応募
お待ちしております！

12月から新鮮卵移植の日程が変わります

生産本部指導部技術課 本田 望

家畜改良事業団が生産している体外新鮮卵がDay8配送からDay7配送の受精卵に変わります。それに伴い、現行は水曜日と金曜日に新鮮卵移植を行っていましたが、12月の最初の週から火曜日と金曜日に変更となります。

従いまして、月曜日～水曜日の発情が火曜日に移植、木曜日～土曜日の発情が金曜日に移植となります。現行では対応できなかった土曜日の発情も、新鮮卵での対応が可能になります。

現行

2021 12月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	01	02	03	04	05
← 発情 →		← 発情 →				
06	07	08	09	10	11	12
		移植		移植		
13	14	15	16	17	18	19

変更後

2021 12月

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29	30	01	02	03	04	05
← 発情 →		← 発情 →				
06	07	08	09	10	11	12
	移植			移植		
13	14	15	16	17	18	19

土曜日の発情も新鮮卵で対応可能に!!

火曜日が新鮮卵移植に変更!!

技術課に連絡する際に、発情日または出血日を伝えて頂くところらで適した日程に割り振りいたします。

質問等ございましたら技術課までご連絡お願いいたします。

お問い合わせは技術課まで

☎ 096-380-6204

11月は畜産環境月間です

平成16年11月1日の「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」本格施行を機会に、熊本県では11月を畜産環境月間と定めて、畜産環境保全に努めるように呼びかけています。

法に定める管理基準の適用を受ける飼養規模は次のとおりです。

牛、馬は10頭以上、豚は100頭以上、鶏は2,000羽以上

これらに該当する方は、次の事項を遵守する必要があります。

- ◆堆肥・尿処理施設の床を不浸透性材料（コンクリートやビニール等）で整備し、堆肥施設等には適当な被覆や側壁等を設けること。
- ◆堆肥化処理施設等の定期的な点検、補修、維持管理を行うこと。
- ◆家畜排せつ物の発生量や処理について記録をつけること。

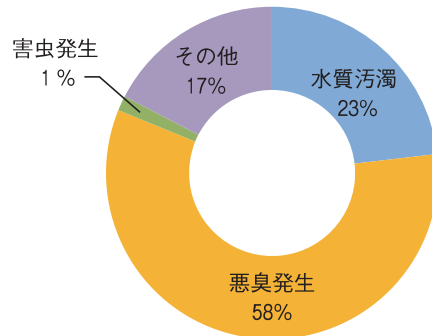
※管理基準以下の経営においても適正に管理することが必要です

畜産業において、家畜排せつ物を適正に管理することは義務となっています。
地域に理解される畜産経営を目指しましょう。

畜産環境への苦情の半数以上は、悪臭発生によるものです。

悪臭発生対策として、

- 畜舎からのふん尿の早期搬出
- 畜舎内外の清掃
- 適正な堆肥化・浄化处理
- 圃場での散布後の速やかな耕起



畜産経営に起因する苦情発生
令和元年7月～令和2年6月

県では関係団体と連携して熊本県耕畜連携推進協議会を設置し、家畜排せつ物の適切な管理を通じて生産された良質な堆肥の情報等を提供するなど、環境保全型農業や耕畜連携を推進しています。詳しくは、協議会HP「くまもと堆肥ネット」をご参照ください。

お問い合わせ先

- お近くの地域振興局農業普及・振興課
- 熊本県耕畜連携推進協議会事務局
096-333-2398（熊本県農林水産部畜産課）
096-328-1025（JA熊本中央会
担い手・法人サポートセンター）

酪農ヘルパーを募集!

募集人員：若干名

応募資格：年齢35歳未満の人募集（職業経験不問）、普通自動車免許
資格取得者

勤務地：熊本県の酪農地帯

作業内容：搾乳、飼料給与、牛舎清掃など

給与待遇：面接時に詳細を説明します。

申込方法：履歴書を下記住所まで送付して下さい。
追って、面接日をお知らせします。

〒861-8041 熊本市東区戸島5丁目10番15号
デーリィサポート熊本
(熊本県酪農ヘルパー利用組合)

お問い合わせは、

TEL 096 388 3516(担当:嶋村)

